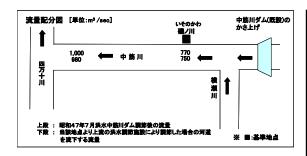
治水対策案 K: 既設ダムの有効活用(中筋川ダムかさ上げ)+河道の掘削

+堤防のかさ上げ

【治水対策案の概要】

- ◆既設ダムの有効活用(中筋川ダムかさ上げ)、中筋川の河道の掘削、横瀬川の堤防かさ上げを組み合わせて実施する。
- ◆中筋川は、河道内の高水敷を掘削(河道内樹木伐採を含む)し、横瀬川は、堤防をかさ 上げする。
- ◆横瀬川の堤防のかさ上げや中筋川ダムかさ上げに伴い、必要な範囲の用地買収を実施するとともに、樋門・樋管、排水機場及び橋梁等の構造物の改築等を実施する。
- ◆河道の掘削及び堤防のかさ上げを行ったところから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆中筋川ダムかさ上げは、完成時に効果が発揮される。
- ※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
- ※ 対策箇所や数量については、平成23年度末時点のものである。



【治水対策案】

■既設ダムの有効活用(中筋川ダムかさ上げ) +河道の掘削+堤防のかさ上げ

(中筋川ダム)

中筋川ダムかさ上げ

6.4m 【増加容量460万m³】

洪水吐改造1式用地買収約20ha付替道路約10km

(中筋川)

掘削約50万m³用地買収約3ha

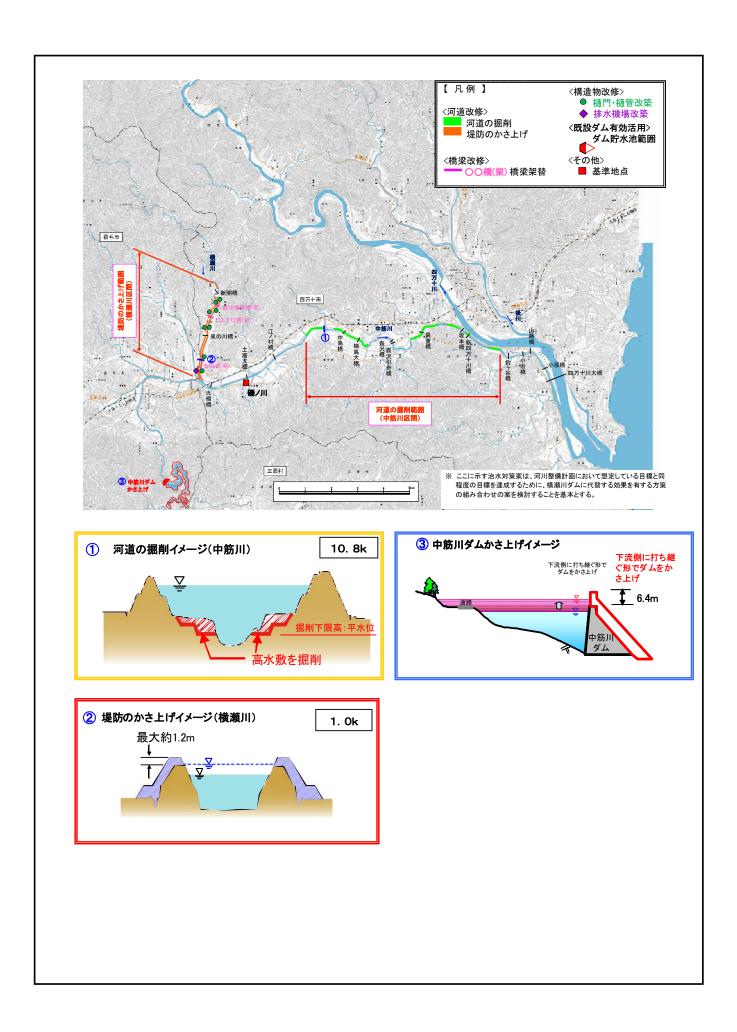
(横瀬川)

提防のかさ上げ 約8km 橋梁架替 3橋 樋門・樋管一部改築 8基 排水機場一部改築 1基 用地買収 約2ha

▶中筋川:「既設ダムの有効活用(ダムかさ上げ)」「河道の掘削」

▶横瀬川:「堤防のかさ上げ」

※河川整備計画で位置づける河川整備のうち残る整備内容は、横 瀬川ダムの建設のみである。



治水対策案 L: 既設ダムの有効活用(中筋川ダムかさ上げ)

+遊水地(掘削無し(小))+河道の掘削+堤防のかさ上げ

【治水対策案の概要】

- ◆既設ダムの有効活用(中筋川ダムかさ上げ)、遊水地(掘削無し(小))、中筋川の河道の掘削、横瀬川の堤防かさ上げを組み合わせて実施する。
- ◆中筋川の遊水地は、農地での耕作に配慮し、治水対策案Iの遊水地に対して規模を半分程度に縮小する。また、遊水地内は掘削せずに現況地形の状態で地役権を設定する。
- ◆中筋川は、河道内の高水敷を掘削(河道内樹木伐採を含む)し、横瀬川は、堤防をかさ上げする。
- ◆横瀬川の堤防のかさ上げ、中筋川ダムかさ上げ及び遊水地の設置に伴い、必要な範囲の用 地買収を実施するとともに、樋門・樋管、排水機場及び橋梁等の構造物の改築等を実施す る。
- ◆河道の掘削及び堤防のかさ上げを行ったところから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆中筋川ダムかさ上げ及び遊水地の完成時に治水効果が発揮される。
- ※ 遊水地は、内水地区となっているところのうち、住宅密集地が隣接しておらず、できるだけ上流に位置するところで相当規模の容量を確保できる箇所を選定した。
- ※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
- ※ 対策箇所や数量については、平成23年度末時点のものである。

【治水対策案】

■既設ダムの有効活用(中筋川ダムかさ上げ) +遊水地(掘削無し(小))+河道の掘削 +堤防のかさ上げ

(中筋川ダム)

中筋川ダムかさ上げ 6.4m【増加容量460万m3】

洪水吐改造1式用地買収約20ha付替道路約10km

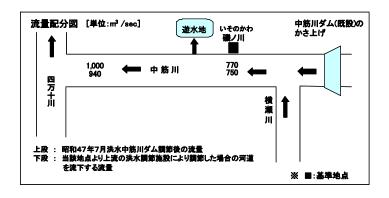
(中筋川) (横瀬川)

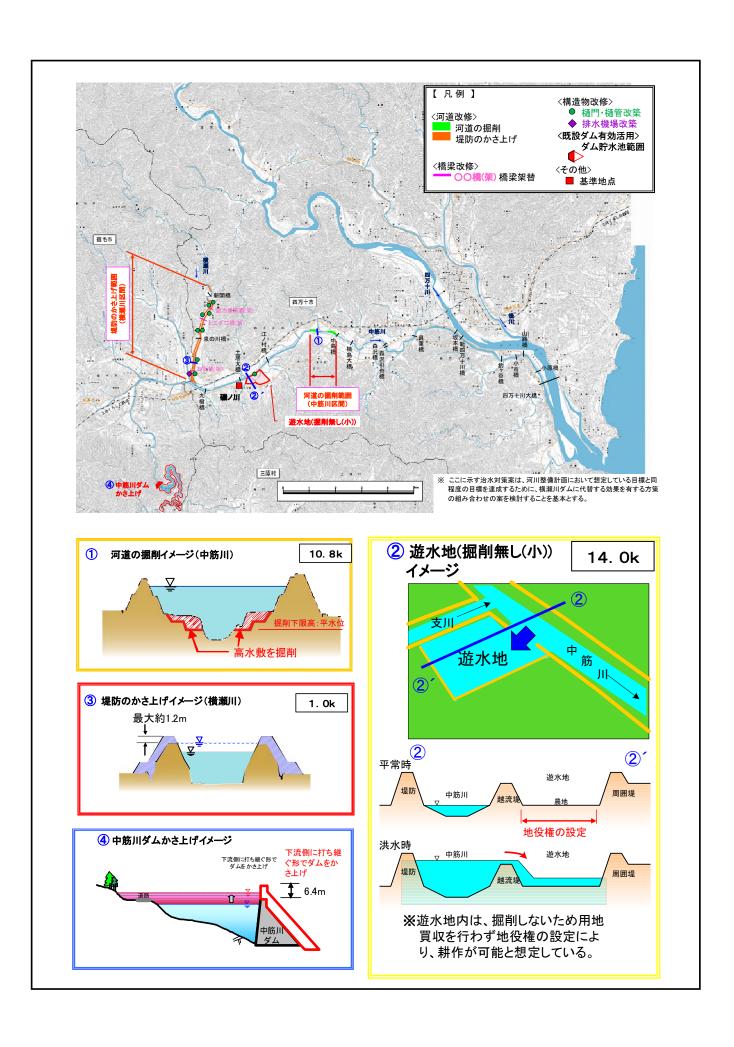
掘削 約10万m3 堤防のかさ上げ 約8km 遊水地 約40ha 橋梁架替 3橋 樋門·樋管改築 樋門 · 樋管一部改築 8基 1基 約6ha 排水機場一部改築 1基 用地買収 (遊水地) 地役権設定(遊水地) 約30ha 約2ha 用地胃坝

▶中筋川:「既設ダムの有効活用(中筋川ダムかさ上げ)」「遊水地(掘削無し(小))」「河道の掘削」

▶横瀬川:「堤防のかさ上げ」

※河川整備計画で位置づける河川整備のうち残る整備内容は、横瀬川ダムの建設のみである。



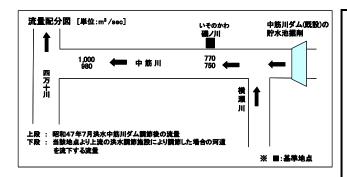


治水対策案 M: 既設ダムの有効活用(中筋川ダム貯水池掘削)

+河道の掘削+堤防のかさ上げ

【治水対策案の概要】

- ◆既設ダムの有効活用(中筋川ダム貯水池掘削)、中筋川の河道の掘削、横瀬川の堤防かさ上げを組み合わせて実施する。
- ◆中筋川は、河道内の高水敷を掘削(河道内樹木伐採を含む)し、横瀬川は、堤防をか さ上げする。
- ◆横瀬川の堤防のかさ上げ、中筋川ダム貯水池掘削に伴い、必要な範囲の用地買収を実施するとともに、樋門・樋管、排水機場及び橋梁等の構造物の改築等を実施する。
- ◆河道の掘削及び堤防のかさ上げを行ったところから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆中筋川ダム貯水池掘削は、完成時に治水効果が発揮される。
- ※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
- ※ 対策箇所や数量については、平成23年度末時点のものである。



【治水対策案】

■既設ダムの有効活用(中筋川貯水池掘削) +河道の掘削+堤防のかさ上げ

(中筋川ダム)

ダム貯水池掘削約900万m³洪水吐改造1式用地買収約20ha(中筋川)

 掘削
 約50万m³

 用地買収
 約3ha

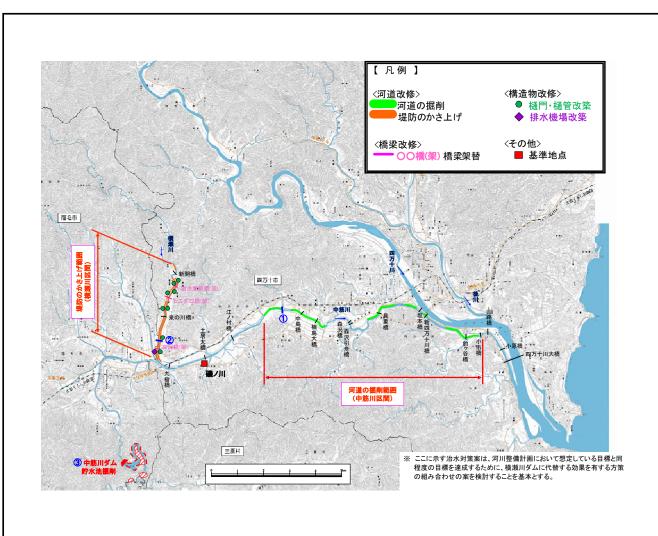
(横瀬川)

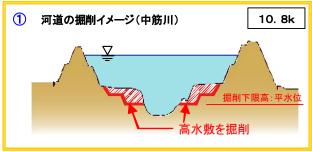
提防のかさ上げ 約8km 橋梁架替 3橋 樋門・樋管一部改築 8基 排水機場一部改築 1基 用地買収 約2ha

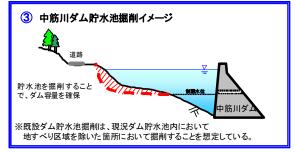
▶ 中筋川:「既設ダムの有効活用(ダム貯水池掘削)」 「河道の掘削」

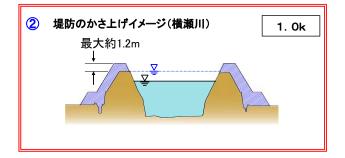
▶横瀬川:「堤防のかさ上げ」

※河川整備計画で位置づける河川整備のうち残る整備内容は、横瀬川ダムの建設のみである。







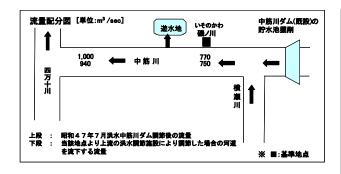


治水対策案 N: 既設ダムの有効活用(中筋川ダム貯水池掘削)

+遊水地(掘削無し(小))+河道の掘削+堤防のかさ上げ

【治水対策案の概要】

- ◆既設ダムの有効活用(中筋川ダム貯水池掘削)、遊水地(掘削無し(小))、中筋川の河道 の掘削、横瀬川の堤防かさ上げを組み合わせて実施する。
- ◆中筋川の遊水地は、農地での耕作に配慮し、治水対策案Iの遊水地に対して規模を半分程度に縮小する。また、遊水地内は掘削せずに現況地形の状態で地役権を設定する。
- ◆中筋川は、河道内の高水敷を掘削(河道内樹木伐採を含む)し、横瀬川は、堤防をかさ上げする。
- ◆横瀬川の堤防のかさ上げ、中筋川の遊水地、中筋川ダム貯水池掘削に伴い、必要な範囲 の用地買収を実施するとともに、樋門・樋管、排水機場及び橋梁等の構造物の改築等を 実施する。
- ◆河道の掘削及び堤防のかさ上げを行ったところから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆遊水地及び中筋川ダム貯水池掘削は、完成時に治水効果が発揮される。
- ※ 遊水地は、内水地区となっているところのうち、住宅密集地が隣接しておらず、できるだけ上流に位置するところで相当規模の容量を確保できる箇所を選定した。
- ※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
- ※ 対策箇所や数量については、平成23年度末時点のものである。



【治水対策案】

- ■既設ダムの有効活用(中筋川ダム貯水池掘削) +遊水地(掘削無し(小))+河道の掘削
 - +堤防のかさ上げ
- (中筋川ダム)

ダム貯水池掘削 約900万m3 洪水吐改造 1式 用地買収 約20ha (中筋川) 約40ha 遊水地 樋門・樋管改築 1基 約10万m3 用地買収 (遊水地) 約6ha 地役権設定(遊水地) 約30ha (横瀬川) 堤防のかさ上げ 約8km 橋梁架替 3橋 樋門·樋管一部改築 8基 排水機場一部改築 1基

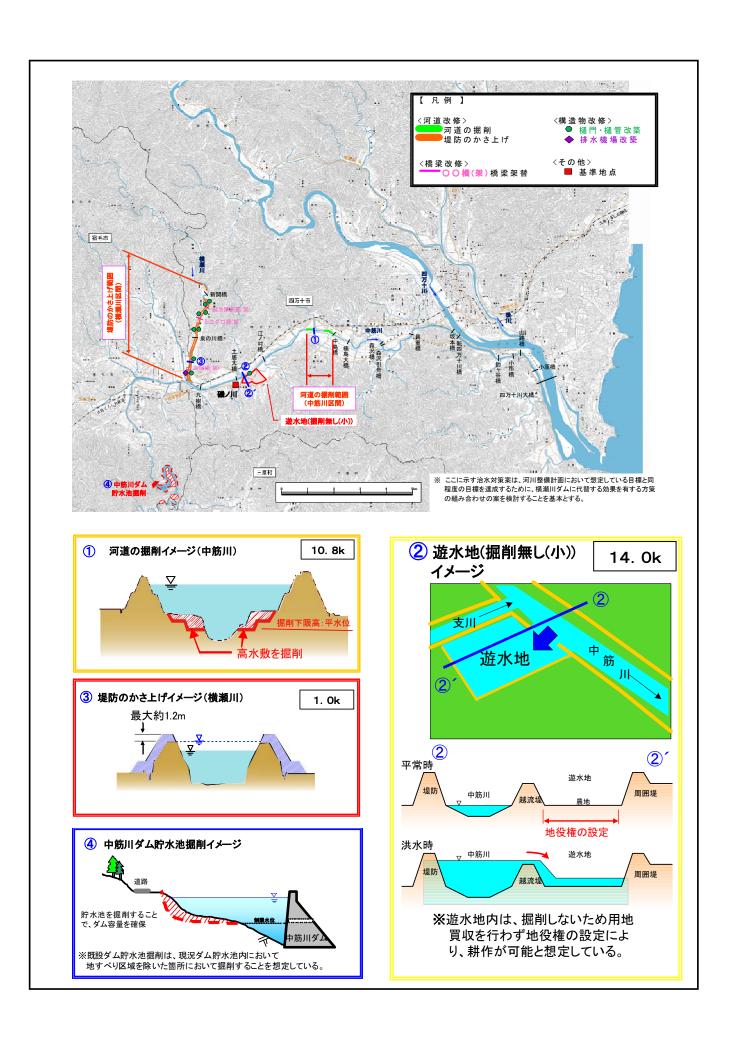
▶ 中筋川:「既設ダムの有効活用(ダム貯水池掘削)」 「遊水地(掘削無し(小))」「河道の掘削」

▶横瀬川:「堤防のかさ上げ」

用地買収

※河川整備計画で位置づける河川整備のうち残る整備内容は、横瀬川ダムの建設のみである。

約2ha

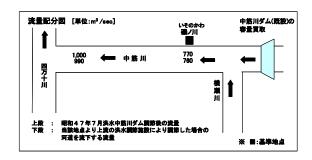


治水対策案 0: 既設ダムの有効活用(中筋川ダム容量買取)

+河道の掘削+堤防のかさ上げ

【治水対策案の概要】

- ◆既設ダムの有効活用(中筋川ダム容量買取)、中筋川の河道の掘削、横瀬川の堤防か さ上げを組み合わせて実施する。
- ◆中筋川は、河道内の高水敷を掘削(河道内樹木伐採を含む)し、横瀬川は、堤防をか さ上げする。
- ◆横瀬川の堤防のかさ上げ、中筋川の河道の掘削に伴い、必要な範囲の用地買収を実施 するとともに、樋門・樋管、排水機場及び橋梁等の構造物の改築等を実施する。
- ◆河道の掘削及び堤防のかさ上げを行ったところから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆中筋川ダムの容量買取では、容量買取、洪水吐改造の完了時に治水効果が発揮される。
 - ※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
 - ※ 対策箇所や数量については、平成23年度末時点のものである。



【治水対策案】

■既設ダムの有効活用(中筋川ダム容量買取) +河道の掘削+堤防のかさ上げ

(中筋川ダム)

中筋川ダム容量買取 約195万㎡ (洪水期)

洪水吐改造

1式

(中筋川)

掘削 約50万m³

用地買収 約3ha

(横瀬川)

堤防のかさ上げ 約8km

橋梁架替 3橋

樋門・樋管一部改築 8基

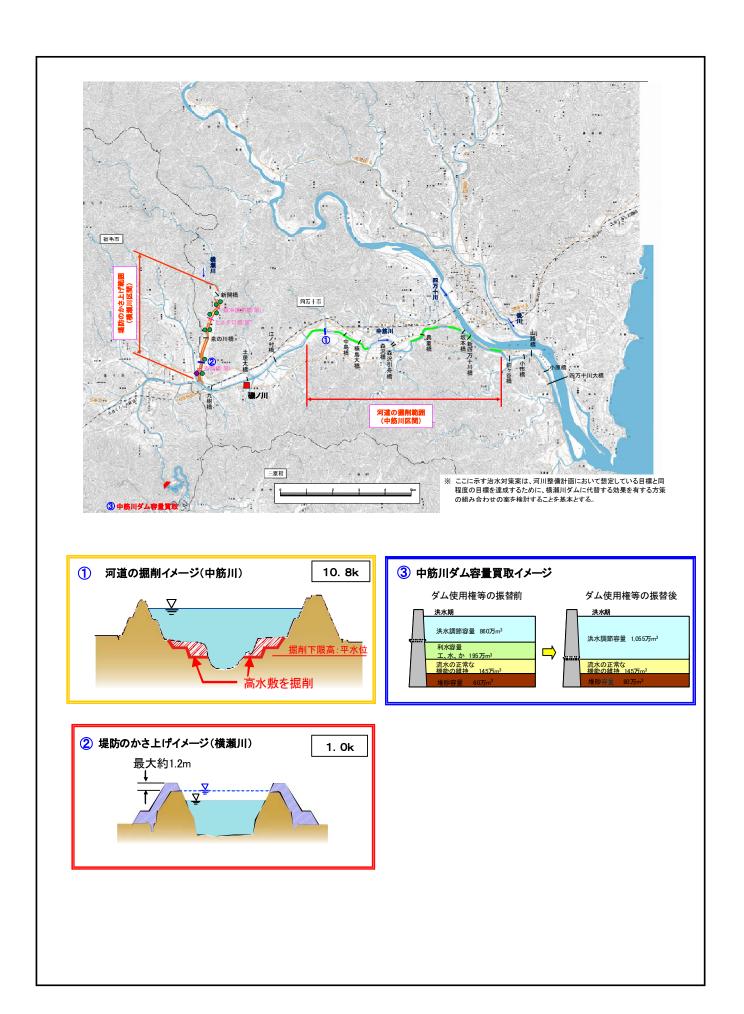
排水機場一部改築 1基

用地買収 約2ha

▶中筋川:「既存ダムの有効活用(容量買取)」「河道の掘削」

▶横瀬川:「堤防のかさ上げ」

※河川整備計画で位置づける河川整備のうち残る整備内容は、横 瀬川ダムの建設のみである。

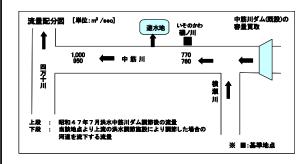


治水対策案 P: 既設ダムの有効活用(中筋川ダム容量買取)

+ 遊水地(掘削無し(小))+河道の掘削+堤防のかさ上げ

【治水対策案の概要】

- ◆既設ダムの有効活用(中筋川ダム容量買取)、遊水地(掘削無し(小))、中筋川の河道の掘削、横瀬川の堤防かさ上げを組み合わせて実施する。
- ◆中筋川の遊水地は、農地での耕作に配慮し、治水対策案Iの遊水地に対して規模を半分程度に縮小する。また、遊水地内は掘削せずに現況地形の状態で地役権を設定する。
- ◆中筋川は、河道内の高水敷を掘削(河道内樹木伐採を含む)し、横瀬川は、堤防をかさ 上げする。
- ◆横瀬川の堤防のかさ上げ、中筋川の遊水地、中筋川の河道の掘削に伴い、必要な範囲の 用地買収を実施するとともに、樋門・樋管、排水機場及び橋梁等の構造物の改築等を実 施する。
- ◆河道の掘削及び堤防のかさ上げを行ったところから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆中筋川ダムの容量買取及び遊水地の設置では、完了時に治水効果が発揮される。
- ※ 遊水地は、内水地区となっているところのうち、住宅密集地が隣接しておらず、できるだけ上流に位置するところで相当規模の容量を確保できる箇所を選定した。
- ※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
- ※ 対策箇所や数量については、平成23年度末時点のものである。



【治水対策案】

- ■既設ダムの有効活用(中筋川ダム容量買取)
 - +遊水地(掘削無し(小))+河道の掘削
 - +堤防のかさ上げ

(中筋川ダム)

中筋川ダム容量買取 約195万m³ (洪水期) 洪水吐改造 1式

(中筋川)

遊水地約40ha樋門・樋管改築1基掘削約10万m³用地買収(遊水地)約6ha地役権設定(遊水地)約30ha

(横瀬川)

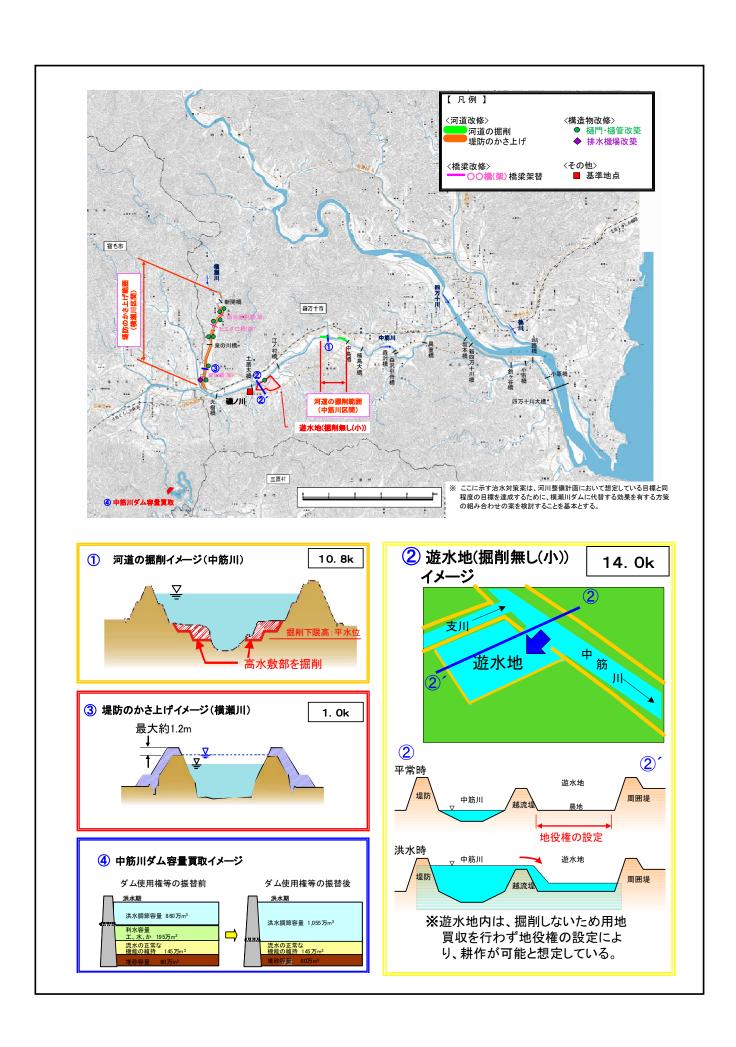
堤防のかさ上げ約8km橋梁架替3橋樋門・樋管一部改築8基排水機場一部改築1基用地買収約2ha

▶ 中筋川:「既設ダムの有効活用(容量買取)」

「遊水地(掘削無し(小))」「河道の掘削」

▶横瀬川:「堤防のかさ上げ」

※河川整備計画で位置づける河川整備のうち残る整備内容は、横 瀬川ダムの建設のみである。



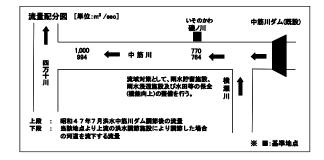
グループⅣ:流域を中心とした対策案

治水対策案 Q:雨水貯留施設+雨水浸透施設+水田等の保全(機能の向上)

+河道の掘削+堤防のかさ上げ

【治水対策案の概要】

- ◆中筋川流域(内水地区を除く)において雨水貯留施設の設置、舗装道路への雨水浸透ますの設置、水田の保全(機能の向上)、中筋川の河道の掘削、横瀬川の堤防かさ上げを組み合わせて実施する。
- ◆中筋川は、河道内の高水敷を掘削(河道内樹木伐採を含む)し、横瀬川は、堤防を かさ上げする。
- ◆横瀬川の堤防のかさ上げ、中筋川の河道の掘削に伴い、必要な範囲の用地買収を実施するとともに、樋門・樋管、排水機場及び橋梁等の構造物の改築等を実施する。
- ◆河道の掘削及び堤防のかさ上げを行ったところから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆雨水貯留施設、雨水浸透施設、水田等の保全(機能の向上)は、それぞれ行ったと ころから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆流域を中心とした対策である雨水貯留施設、雨水浸透施設、水田等の保全(機能の向上)については、施設管理者等の理解と協力及び継続的な維持管理が必要となる。
 - ※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
 - ※ 対策箇所や数量については、平成23年度末時点のものである。



【治水対策案】

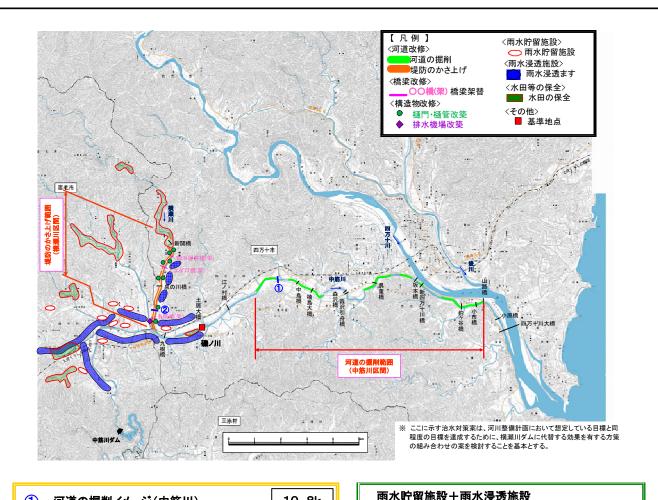
■流域対策+河道の掘削+堤防のかさ上げ (流域対策)

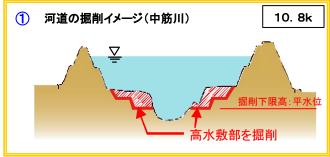
約0.1km² 雨水貯留施設面積 約1,500基 雨水浸透ます 水田保全面積 約1.1km² 用地買収 約1ha (中筋川) 掘削 約60万m³ 用地買収 約4ha (横瀬川) 堤防のかさ上げ 約8km 橋梁架替 3橋 樋門·樋管一部改築 8基 排水機場一部改築 1基 用地買収 約2ha

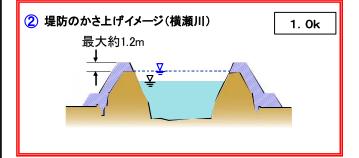
流域対策:「雨水貯留施設」「雨水浸透施設」 「水田等の保全(機能の向上)」

▶中筋川:「河道の掘削」▶横瀬川:「堤防のかさ上げ」

※河川整備計画で位置づける河川整備のうち残る整備内容は、横瀬川ダムの建設のみである。









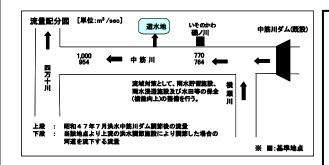
グループⅣ:流域を中心とした対策案

治水対策案 R: 雨水貯留施設+雨水浸透施設+水田等の保全(機能の向上)

+ 遊水地(掘削無し(小))+河道の掘削+堤防のかさ上げ

【治水対策案の概要】

- ◆中筋川流域(内水地区を除く)において雨水貯留施設の設置、舗装道路への雨水浸透ます の設置、水田の保全(機能の向上)、遊水地(掘削無し(小))、中筋川の河道の掘削、 横瀬川の堤防かさ上げを組み合わせて実施する。
- ◆中筋川の遊水地は、農地での耕作に配慮し、治水対策案Iの遊水地に対して規模を半分程度に縮小する。また、遊水地内は掘削せずに現況地形の状態で地役権を設定する。
- ◆中筋川は、河道内の高水敷を掘削(河道内樹木伐採を含む)し、横瀬川は、堤防をかさ 上げする。
- ◆横瀬川の堤防のかさ上げ、中筋川の遊水地、中筋川の河道の掘削に伴い、必要な範囲の 用地買収を実施するとともに、樋門・樋管、排水機場及び橋梁等の構造物の改築等を 実施する。
- ◆河道の掘削及び堤防のかさ上げを行ったところから段階的に治水効果が発揮される。
- ◆雨水貯留施設、雨水浸透施設、水田等の保全(機能の向上)は、それぞれ行ったところ から段階的に治水効果が発揮される。
- ◆流域を中心とした対策である雨水貯留施設、雨水浸透施設、水田等の保全(機能の向上) については、施設管理者等の理解と協力及び継続的な維持管理が必要となる。
- ※ 遊水地は、内水地区となっているところのうち、住宅密集地が隣接しておらず、できるだけ上流に位置するところで相当規模の容量を確保できる箇所を選定した。
- ※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
- ※ 対策箇所や数量については、平成23年度末時点のものである。



【治水対策案】

■流域対策+遊水地(掘削無し(小))+河道の掘削 +堤防のかさ上げ

(流域対策)

雨水貯留施設面積 約0.1km² 雨水浸透ます 約1,500基 水田保全面積 約1.1km² 用地買収 約1ha

(中筋川)

遊水地約40ha樋門・樋門改築1基掘削約20万m³用地買収(遊水地)約6ha地役権設定(遊水地)約30ha

(横瀬川)

堤防のかさ上げ約8km橋梁架替3橋樋門・樋管一部改築8基排水機場一部改築1基用地買収約2ha

▶中筋川:「遊水地(掘削無し(小))」「河道の掘削」

▶横瀬川:「堤防のかさ上げ」

※河川整備計画で位置づける河川整備のうち残る整備内容は、 横瀬川ダムの建設のみである。

